

16-11 ウエペケレ「アアチャハ イレス」解説

語り手：鍋澤ねぷき
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これは、うーん、a=acaha i=resu [おじに私は育てられた]

鍋澤：ん、ん、ん

萱野：私のおじさんが私を育て、子供の時は唄いながら育てておったのを……、
だと思って聞いておったのが大きくなって聞いたら、それは泣きながら
私を育てておったのであったと。

鍋澤：ん、うん、そうだと。

萱野：そして自分自身の生い立ちを、ここで、aysirkamuy ちゅーのはどういう
ことというの？

鍋澤：「仏さん」。

萱野：あーなるほどね。

鍋澤：うん、うん、仏さん。

萱野：aysirkamuy i=nure [幽霊が聞かせてくれる] というのはカラスがもの言
ったのを聞こえた……、聞いたように思ったけれども、実際はカラスじゃ
なくて、

鍋澤：うんだ、仏さん

萱野：仏さんがカラスになって喋ったんでしょうと。そういうことなわけですね。
そのカラスらしいカラスが喋って教えてあげもったけれども、自分の生
い立ちを教えられ、そしてその育ててくれたおじさんから教えられて、ま、

かたき討ちをした。という筋書きの uepeker [散文説話] ですね。

鍋澤：うん、うん、うん。

萱野：それから、さっき rupne watara っていう言葉言った、これどういうこと。

鍋澤：rupne watara nokan_watara [大きな石、小さな石] っていうのは「石」。

萱野：あー、なるほど。

鍋澤：石、石。

萱野：うん、うん、うん。watara、石。temsutna wa suke wa i=ipere [腕の付け根から（手を洗って）料理をして私に食べさせた] .

鍋澤：ちゃんと手洗って

萱野：あーなるほどね。

はい、どうもありがとうございます。